

1. 対象製品

玄関ドア用ドアクローザ

略称：CJK ドアクローザ

2. 標準(共通)化の部位

ドアクローザ各部位の一般呼称を図1に、また、ドアクローザ標準(共通)化対象部位を図2に示す。

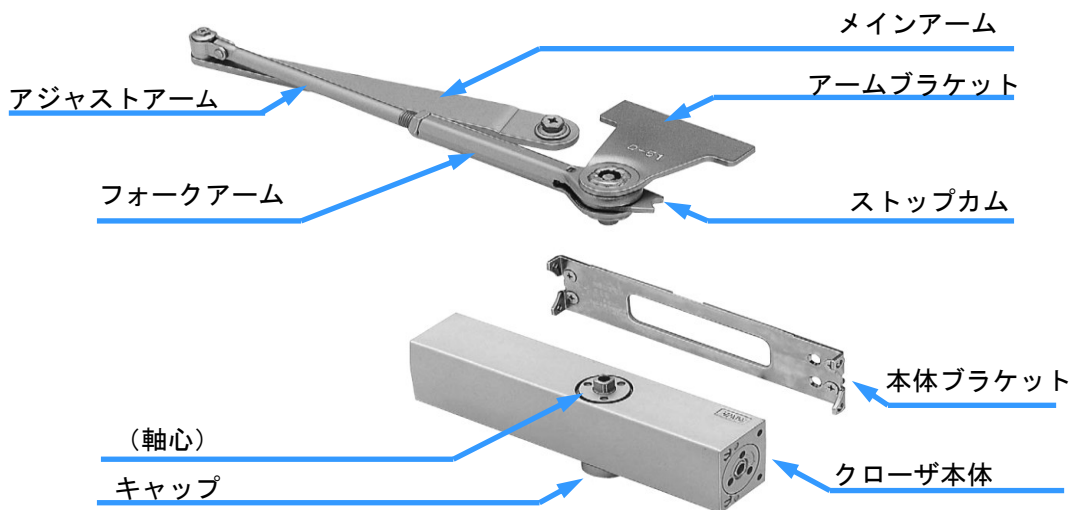
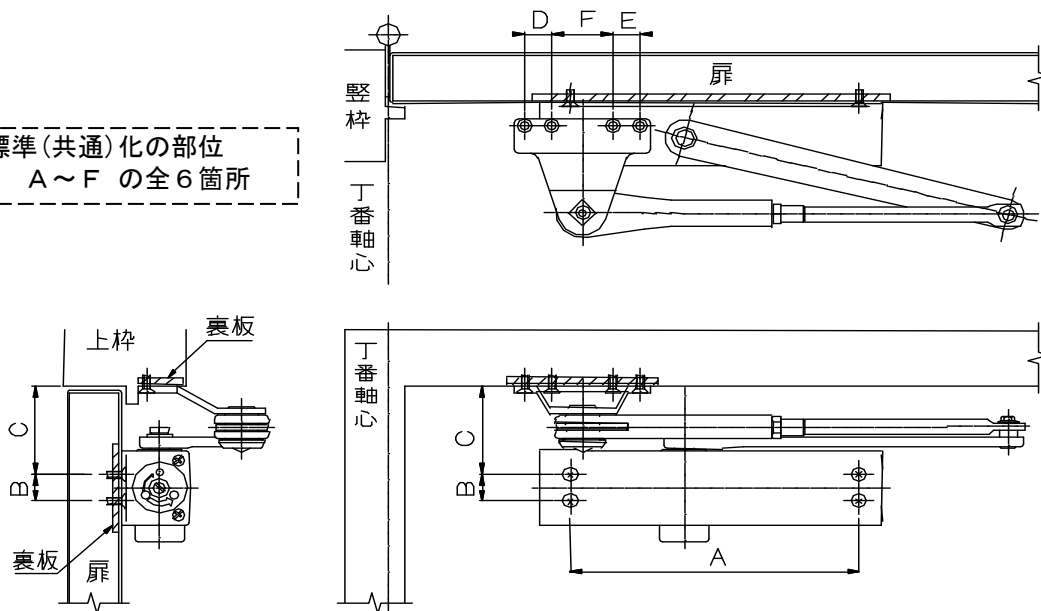


図1 - ドアクローザ 各部位の一般呼称

■標準(共通)化の部位  
A～F の全6箇所



- A : 扉本体への取付けビスピッチ(W方向)
- B : 扉本体への取付けビスピッチ(H方向)
- C : 扉取付け用上部ビス心から、アームブラケット先端位置までの高さ
- D [E] : アームブラケット先端部の枠取付けビスピッチ [両端部]
- F : アームブラケット先端部の中央部枠取付けビスピッチ

図2 - 標準(共通)化の部位

### 3. 寸法・形状

玄関ドア用ドアクローザの主要部位について、表1の2タイプを標準(共通)化寸法とする。

表1－各部位の標準(共通)化寸法

| 項目   | 単位：mm |     |
|------|-------|-----|
|      | 寸法①   | 寸法② |
| A    | 178   |     |
| B    | 19    |     |
| C    | 63    | 69  |
| D〔E〕 | 18    |     |
| F    | 40    |     |

### 4. 表示方法

印刷物・電子媒体などに、当該商品が長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CjK”マークを表示する。

### 5. 特記事項

#### 5.1 運用上の注意点

- ・ 作動不良発生等の予防観点から、クローザのセット梱包となっている ドアクローザ本体 と、アームブラケット の両セットでの同時交換を必須とする。
- ・ 既存ドア本体に取付け済みのアームに、交換用クローザ本体だけの取替えは行わない。

#### 5.2 その他部位の推奨寸法について

図3に示す、アーム先端部軸心から扉本体へのビス止め位置(部位G)、及び、扉丁番の軸心から扉取付けビス位置までの寸法(部位H)の両部位を推奨寸法とし、表2に定める。

一般に、部位Gはアームの有す長さ調整代の範囲内で、相応の対応が可能であること、また、部位Hはドア本体とクローザ本体との取り付け位置を示す部位であることから、推奨寸法としての位置づけとする。

表2－推奨寸法

| 項目 | 単位：mm |     |
|----|-------|-----|
|    | 寸法①   | 寸法② |
| G  | 8     | 36  |
| H  | 145   | 87  |

### 6. 解説

特に無し

### 7. 共通事項

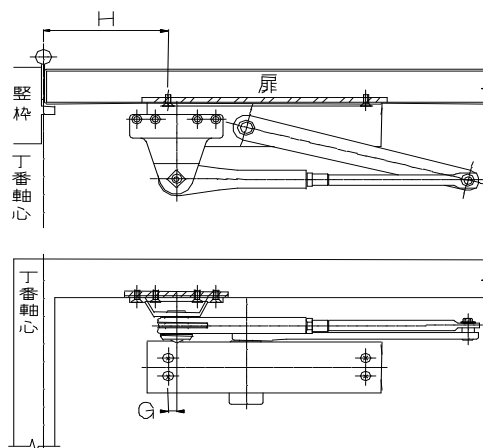
#### 7.1 寸法について

- ・ 寸法は基準値を示し、交差・許容差を表すものではない。

#### 7.2 交換について

- ・ 交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記：専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。



G:アーム先端部軸心から扉本体へのビス止め位置

H:扉丁番の軸心から扉取付けビス位置までの寸法  
図3－推奨寸法の部位

### 8. 改訂履歴

#### 8.1 2014年3月20日改訂

- ・ “7. 共通事項”を基準書記載内容改訂により記載
- ・ 標準化の部位GおよびHを 標準(共通)化寸法から推奨寸法へ変更
- ・ “5.2 その他部位の推奨寸法について”を追記
- ・ 符号、書式の統一

#### 8.2 2016年4月28日改訂

- ・ 対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・ 7.1寸法について記載内容改訂